

経営幹部 IR・経営企画ご担当様

ESG・サステナブル対策コンサルティング

求められるESG対応 広がる企業評価査定

脱炭素経営・カーボンニュートラル

サプライチェーン対応

カーボンプライシング対策

サステナブル(持続可能)な事業経営

新たな企業価値の再構築

企業経営に求められる「ESG対策」

2015年12月フランスのパリで開催されたCOP21で「パリ協定」が合意されました。

それに伴い機関投資家・金融機関がESG投資を重視し、経済に於ける気候変動リスクを経営戦略に具体的に織り込むことを求めてきています。

東京証券取引所でも2022年4月の市場再編を機にTCFDへの対応内容の開示要求が始まりました。

企業評価に於いても従来の財務を中心とした企業調査・評価だけでなく、ESG対応の内容も評価する様になり、2022年からは東証プライム市場企業全てに対し世界的な調査機関「CDP」により質問書が送られその評価結果が公開されるようになりました。

これらが示すようにESG対策は企業経営に於いて重要不可欠なものとなり、その具体的な対応が急ぎ求められています。

弊社について 株式会社エコスクリエイション

2007年より「環境経営コンサルティング」として数多くの企業・プロジェクトにて脱炭素を主テーマとしたコンサルティングを実施。世界・官公庁の動向・情報を分析し、IT技術も活用したビジネス環境に影響する具体的な施策を企画実施支援してまいりました。創業時より環境取引(CO2排出取引)に注目し再エネビジネス、電力ガス小売ビジネス、カーボンニュートラルに関する支援も多く実施してまいりました。今後企業が事業展開するために避けて通れないサステナブル(持続可能)な社会への対応についても、無理なく適正・効果的な対策に支援させていただきます。

求められる具体的な対応例

TCFD

気候変動関連情報で「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の4項目の取組開示が求められる。具体例として「2°C(1.5°C)目標シナリオで自社のリスク・機会を評価し、どのように反映し財務上への影響を把握しているか」等がある。

CDP

企業に於ける気候変動に対する取り組みとその姿勢が審査評価されます。事業活動に於けるCO2排出量の算出や、経営幹部による取組・企業統治の内容(リーダーシップ)、それを企業活動の中でどの様に実施されているかの質問に対して回答が求められます。

JPXのESG情報開示

ESG投資に関心を持つ投資家(機関投資家)に対して、市場として「TCFD」を含む情報開示が求められています。プライム企業から始まっていますが、スタンダード・グロース企業も自社価値向上に向けて積極的開示が広がることが予想されます。

Scope 1, 2, 3

CO2の排出量の算定区分
Scope1：自社で製品生産等で派生するもの等
Scope2：他から供給された電力・熱等の間接的排出量
Scope3：Scope1,2以外の間接的排出量、社員の移動やサプライチェーンのScope1,2等も含まれる。

サプライチェーン対応

従来の日本国内のGHG排出算定報告にはScope1,2が主たる算定内容だったが、世界的にScope3まで算定するため、サプライチェーンからの報告や対策の協同・支援等が必要となってくる。

SDGs

国連が定めた2030年までの目標として17項目の対策目標があり、賛同者自らが具体的な目標を掲げて実施する。気候変動対策に注目が集まっていますが、ダイバーシティ、貧困・飢餓対策、教育・平和と言った内容も目標項目として掲げられています。

その他

企業活動に於ける中長期計画の中でCO2削減計画も立案実施し常に気候変動対策に伴う「PDCA」を実施し、その内容が開示されることが求められます。

弊社がご提供するサービス

セミナー・講習【世間動向、展開予想、各種規制、ESG解説等をテーマ・対象者に合わせて分かりやすく説明】

- ◆ 役員・経営幹部向け「ESG対策・重要性解説セミナー」
- ◆ サプライチェーン向け「CO2排出量算定・削減講習」「サステナブル経営に於けるサプライチェーンセミナー」
- ◆ 従業員・業務担当向け「実務実施例講習」「GHG削減対策講習」 他

コンサルティング【金融投資分野の企業評価対応、自社・サプライチェーン(グループ会社)対策】

- ◆ 中長期計画作成支援
- ◆ GHG算定・開示報告対応、削減対策支援、「Scope1,2,3」算定支援
- ◆ サプライチェーン向け対策マニュアル作成支援 他

ビジネス企画【自社の強みを生かしたビジネス展開を支援】

- ◆ IT・システム開発会社：GHGデータ収集解析ツール開発等
- ◆ 再エネ活用・事業展開支援
- ◆ 水素エネルギー活用展開 他

◆お問い合わせ先◆

コンサルティング実施例

投資家向け

対策プラン

ESG関連要求への既存の対策の見直し・強化・効率化

- ・随時部門毎での積極的な対策実施で複雑化した業務負荷の見直し
- ・あらゆる分野に影響するESG対策をコアに既存対応の整理・対照表作成

効果

新たにESG対策を大規模で実施しなくても項目によっては机上での整理だけで効果的な対策ができ、これまでの実施対策も改めて評価されるようになった

社会向け

対策プラン

自社のノウハウを生かしたESG対策から発展する新たなニーズに展開

- ・商品・サービスの環境負荷の数値化・カーボンニュートラル対応
- ・環境負荷低減対策
- ・公開・アピール内容の精査

効果

これまでも環境負荷低減に努めてきたが社会からの評価が得られにくかったが、既存対策のままでの確かな数値化・表現をすることで評価が得られるようになった

新規事業

対策プラン

自社のノウハウを生かしたESG対策から発展する新たなニーズに展開

- ・商品・サービスの環境負荷の数値化・カーボンニュートラル対応
- ・環境負荷低減対策
- ・公開・アピール内容の精査

効果

これまでも環境負荷低減に努めてきたが社会からの評価が得られにくかったが、既存対策のままでの確かな数値化・表現をすることで評価が得られるようになった

追加対策

対策プラン

ESG関連要求への既存の対策の見直し・強化・効率化

- ・随時部門毎での積極的な対策実施で複雑化した業務負荷の見直し
- ・あらゆる分野に影響するESG対策をコアに既存対応の整理・対照表作成

効果

新たにESG対策を大規模で実施しなくても項目によっては机上での整理だけで効果的な対策ができ、これまでの実施対策も改めて評価されるようになった

その他

対策プラン

ESG対策だけでなく関連するプロジェクトの実施

- 再エネ事業実施の適正化判断
- DX・IT化に伴うシステム開発
- 関連事業実施時の補助金適用対応

効果

弊社単独事業だけではないがパートナー企業と共に適正な環境負荷・費用対効果を考慮したプロジェクトとして実施されている

◆お問い合わせ先◆

新たな持続可能社会を創造
EcosCreation
<https://ecos.co.jp>

株式会社エコスクリエーション
〒550-0013 大阪府大阪市西区新町2-11-3 井上新町ビル2階
E_mail:esg@ecos.co.jp